

## 平成26年度新居浜市中学生国際交流事業(海外派遣)

### 目的

21世紀を担う中学生を外国に派遣し、現地の人々との交流や異文化体験を通して、その国の文化、経済、生活習慣、国民性等の違いを肌で感受することにより、国際理解を深め、豊かな国際感覚と日本人としての自覚と責任感を身に付け、これからの国際社会に貢献できる人材の育成と友好親善の絆を結ぶために実施する。

### 平成26年度新居浜市中学生国際交流事業アメリカ訪問団

**Smile Link connect the world 2014**

— 世界を繋ぐ愛顔の輪 —

#### 1 アメリカ訪問団の概要

- (1) 派遣先 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 フランクリン市
- (2) 期間 平成26年10月25日(土)～11月4日(火)
- (3) 訪問先 フランクリン高等学校、フォレストパーク中学校等を訪問  
ホームステイ(8泊)
- (4) 派遣人数 中学生20名(1年生10名、3年生10名)  
引率指導者3名

#### 2 壮行会・結団式

- (1) 日時 平成26年10月10日(金)16時00分～
- (2) 場所 新居浜市文化振興会館(3階)

石川勝行市長、加藤喜三男市議会議長を来賓に迎え、壮行のお言葉をいただきました。

また、阿部教育長から「アメリカで自分自身を見つめ、帰ってきてから新たな思いを伝えていただきたい。」との激励の言葉がありました。



団員の保護者代表の方から、「何事にも挑戦し、出会いを大切にしてください」との壮行の言葉をいただいた後、訪問団員を代表して、西中3年生の大原葉さんが、「愛ある愛媛に住む私たちの最高の笑顔で、戸惑いや不安を乗り越え、愛顔の輪・友情の輪を広げてきます。」と決意を語りました。



### 3 出発式

(1) 日時 平成26年10月25日(土)11時30分～

※正午に市役所を出発

(2) 場所 新居浜市役所(1階ロビー)

訪問団を代表して、団長の伊藤嘉秀教育委員と東中3年生の井上春花さんそれぞれが、アメリカへの出発に向けて決意と抱負を語りました。

また、阿部教育長から、出発に際して壮行の言葉をいただきました。

団員の家族や友人、学校関係者等100人を超える方々が見送りに来ていただきました。



#### 4 現地での様子

(1) 10月26日(日)8時15分 ※以下現地時間

シカゴ(オヘア)空港へ到着。入国手続きを終え、シカゴ市内のシアーズタワー  
ーを見学。マクドナルド1号店にも立ち寄り、初めてアメリカドルを使いました。



15時00分 フランクリン高校へ到着。ホストファミリーと対面後、各自ホームステイ先の家庭へ...9日間のアメリカでのホームステイ生活が始まります。



(2) 10月27日(月)

現地の学校が休日のため、パートナーといっしょに、ミルウォーキー博物館・ミラーパーク野球場を見学しました。





(3) 10月28日(火)～10月31日(金)

パートナーといっしょに、中1生はフォレストパーク中学校へ、中3生はフランクリン高校へ学校訪問・授業に参加しました。10月30日には、中3生は午前中小学校を、中1生は午後小学校を訪問し、交流活動を行いました。



(4) 10月31日(金)お別れ夕食会 18:00~20:30

ホストファミリー、現地学校関係者等といっしょに夕食を兼ねて「お別れ会」を開催。

団員たちは、4グループに分かれて、出し物を披露したり、全員で「花は咲く」「Let it go」を合唱したりしました。

その後、食事をとったり、ゲームをしたりして親睦を深めました。



(5) 11月1日(土)~2日(日)

終日、ホストファミリーと過ごしました。

(6) 11月3日(月:最終日)6時30分

フランクリン高校へ集合 パートナー・ホストファミリーとのお別れです。7時に日本に向けてフランクリン高校を出発

## 5 帰着式

(1)日時 平成26年11月4日(火) 22時45分

(2)場所 新居浜市役所 1階ロビー

長いようで短かった11日間の日程を終え、全員元気で「ふるさと・新居浜」へ帰ってきました。

訪問団員を代表して、泉川中3年生の今津雄登さんから、アメリカ訪問での感想や関係者への感謝の言葉がありました。

また、阿部教育長から、団員に対しねぎらいの言葉と「訪問団に参加した新居浜の子どもたちが毎年毎年成長しているのをうれしく感じています。12月14日の報告会を楽しみにしています。」とのあいさつがありました。

最後に引率者を代表して、団長の伊藤嘉秀教育委員から、お礼の言葉と「普段の生活の中で、アメリカで体験したことを広げてください。」とのあいさつがありました。

なお、深夜にもかかわらず、多くの方々が出迎えに来てくれました。

団員たちは、一回り成長して帰ってきました。今後の活躍に期待します…。

